

イヨボヤ会館

文化と歴史の伝承館
日本最初の鮭の博物館

鮭 Iyoboya

イヨボヤとは村上の方言で「鮭」のこと

■入館のご案内

- 開館時間 午前9時～午後4時30分
- 休館日 年末年始
※臨時閉館又は閉館する場合があります。詳細についてはお問合せ下さい。
- 入館料

区分	一般	小中高生
個人	600円	300円
団体(20名以上)	500円	250円

おしゃぎり会館とのセット割引券販売中
(個人/団体20名様以上)
一般 1,000円/800円 小中高生 500円/400円



■交通アクセス

- ・JR新潟駅より特急電車で.....45分
- ・JR村上駅より徒歩.....20分
- ・新潟市内より車で.....80分
- ・日東道(村上瀬波温泉IC)より車で.....10分
- ・酒田市内より車で.....120分
- ・湯海温泉より車で.....70分
- ・瀬波温泉より車で.....10分

■無料駐車場

- ・普通乗用車134台・大型バス4台収容
観光駐車場としてもご利用できます。電気自動車充電可能



イヨボヤ会館

〒958-0876
新潟県村上市塩町13-34
TEL 0254-52-7117
FAX 0254-53-4300
E-mail iyoboya@iwafune.ne.jp
URL https://www.iyoboya.jp



イヨボヤ会館は、指定管理者である公益財団法人イヨボヤの里開発公社が管理運営しています。

鮭の自然ふ化増殖に世界で初めて成功した地



村上藩士
あおと ぶへいじ
青砥 武平治像(鮭公園)

三面川 (みおもてがわ)

江戸時代中期の村上藩士、青砥武平治(一七三三〜一七八八)は、村上鮭文化の礎を築いた人物といわれています。武平治は鮭の母川回帰の習性に着目し、産卵場の環境を整え川に遡上した鮭を保護することにより、鮭の個体数を増やすことを発案しました。彼の案をもと藩は鮭の産卵のための川「種川」(三面川の分流)を作り、その環境を保護しました。この事業の成功により、村上は世界で初めて鮭の自然ふ化増殖を成功させた土地となったのです。

イヨボヤの由来

イヨとは魚(ウナ)の転で平安時代の「和名抄」という辞書に「魚という漢字は日本のウナのことだが、俗にイヨとも呼んでいる」と解説されています。また、イヨはイヨともいいます。ボヤとは村上で幼児が使う方言で、広く魚を指す言葉です。村上では魚(イヨ)といえは鮭です。村上人が鮭を「魚の最たるもの」と見てきた歴史の重い言葉です。イヨボヤは「鮭魚」の意で、鮭にだけ使われている方言です。





感動の産卵シーン



1F

1 サーマンシアター (1F)
 プナの原生林にはじまる三面川の清流は生命を育む母なる川。この川の流域に暮らす人々は、古くからサケをはじめとする豊かな川の恵みに感謝し、大切に受け継いできました。四季折々の三面川の景観を通して、人々とサケの関わりを詩情豊かに紹介します。(13分)



2F

2 サケのミニふ化場 (1F)
 様々な淡水魚をご覧いただけます。また、10月～1月頃にかけて、サケの人工ふ化槽を展示しています。新しい生命の誕生、そして懸命に生き抜く元気なサケ稚魚達の姿は、観る人に希望と感動を与えてくれます。



3F

3 生態観察室 (B1F)
 サケの展示コーナーでは、1月～9月頃には元気に泳ぐサケ稚魚達を、10月～12月頃には勇壮な親ザケ達を展示しています。親ザケが目前で産卵床(卵を産む場所)を掘る様子や、タイミングが合えば感動の産卵シーンに遭遇するかもしれません。また、その他淡水魚を展示した大型水槽も並んでいます。



B1F

4 青砥武平治記念コーナー (B1F)
 武平治が打ち立てた「種川の制」が出来るまでの歴史と功績を、分かりやすくアニメの映像(7分間)で解説します。



水中の自然を **観** る。
 サケの生態や文化を **学** ぶ。
 感動いっぱいの **館** です。

やかた

※館内にはエレベーターが
 ございますのでご利用ください。
 ※無料ロッカーがございますので、
 ご利用ください。

- …トイレ
- …エレベーター昇降口
- …コインロッカー(無料)
- …多目的トイレ

5 三面川鮭観察自然館 (B1F)

全長 50メートル、幅 8メートルの大観察室。三面川の分流「種川」に 10カ所の観察窓が設置され、生息する生物を自然のままに観察できます。秋には遡上するサケの様子や、タイミングが合えば神秘的な産卵シーンもご覧いただけます。



6 三面川のサケ漁 (1F)

三面川の秋の風物詩「居繰網漁」に使用されている川舟の展示や、サケを捕るための漁具、漁法等を詳しく紹介します。



7 村上歳時記 (1F)

村上は、海、山、川に恵まれた美しい自然環境のなかに、歴史と伝統が息づく落ち着いた町です。サケ漁とともに発展した「サケ文化」は、村上を語る上では欠かせないもののひとつ。村上歳時記では、村上の人々の暮らしとサケとの関わりを年中行事とサケ料理を通じて紹介します。



8 村上のサケ文化 (2F)

イヨボヤ(鮭)カナ(鮭)メナ(鮭)ハラコ(鮭の卵)ドンピコ(鮭の心臓)ナワタ(鮭の内臓)など多くの村上独特のサケ言葉があります。先人達が築いてきた村上のサケ文化を詳しく紹介します。

